

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アジアの新しい風

1 事業の成果

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、オンラインと対面型のハイブリッド形式の事業などに取り組んだ。支援事業として、交流校学生と会員によるオンラインによる日本語会話練習の「おしゃべりの場」を前年度に引き続き開催し、交流校学生の日本語能力の向上に大いに寄与した。2023年2月には、交流校の学生代表による平和についての朗読コンテストを、会員、交流校Iメイトや教員、元IメイトOBOG、世田谷区の中高校生などの参加をえてハイブリッド形式にて行い、日本とアジアとの相互理解と平和を希求する思いを共有することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1,569 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
日本語教師の派遣	派遣事業は休止						0円
学習者支援事業	・オンライン会話練習「おしゃべりの場」 3大学と延べ17回開催	2022年7月～ 2023年5月	オンライン交流	10名	交流校日本語学習者、会員ほか	335名	0円
Iメイトのためのネットワーク構築事業	・Iメイト事務局 貿易大、パジャジャラン大学の学生コーディネーターにIメイト事務局を依頼 タマサート大学日本語学科教員にIメイト事務局継続を依頼 清華大学東亜言語学科教員にIメイト事務局の継続を依頼 ・Iメイト交流新規マッチング 清華大、タマサート大、貿易大、パジャジャラン大、架け橋グループ	2022年8月 2022年10月 2022年9月 2022年10月～12月		3名 6名	交流校日本語学習者、会員ほか	241名	410千円

日本での文化交流事業	総会後の講演会 (オンライン配信)	2022年9月	JICA 地球ひろば			64名	58千円
	新春交流会 (オンライン配信)	2023年2月	JICA 地球ひろば	10名	交流校日本語学習者、会員ほか	120名	161千円
	Iメイト交流会 詳細別紙1参照	2022年10月～ 2023年5月	東京都内、横浜、京都ほか			233名	124千円
留学生奨学金事業	アジ風奨学金 詳細別紙1参照						2千円
就職活動支援	オンライン配信 詳細別紙1参照	2022年8月～11月		2名	交流校日本語学習者	283名	7千円
アジア諸国訪問、文化交流事業	新型コロナウイルス感染症の拡大で訪問交流事業は中止						0円
普及啓発事業	会報「アジ風新聞」季刊発行、 別冊Iメイト便り18号発行 HPの保守と充実	1, 4, 7, 10月発行 2022年9月発行		10名	アジ風会員、非会員等	300名	807千円

日本での文化交流事業

① 総会後の講演

2022 年 9 月 18 日 市谷 JICA 地球ひろばに会場参加 34 名にオンライン参加 30 名の会員等が集い、講師・赤坂 清隆氏（元国連事務次長）による「ウクライナ情勢と国連」の講演を実施

② 国内交流会

1) I メイト交流会

交流校（架け橋グループ）留学生と会員等のリアル交流会

2022 年 10 月 都内 延べ参加人数 29 名

2023 年 1 月 横浜 延べ参加人数 21 名

交流校留学生と会員等の西日本地区リアル交流会

2023 年 5 月 京都 延べ参加人数 20 名

交流校 I メイト学生と I メイト会員を結んだオンライン交流会を実施

・架け橋グループ 2023 年 1 月 延べ参加人数 17 名

・貿易大学 2023 年 1 月 延べ参加人数 39 名

・パジャジャラン大学 2023 年 3 月 延べ参加人数 32 名

・清華大学 2023 年 1 月 延べ参加人数 33 名

・タマサート大学 2023 年 1 月 延べ参加人数 42 名

留学生奨学金事業

・アジ風奨学基金

実績なし

就職活動支援

交流校学生に対して日本企業への就職支援活動に関するオンライン講習を実施

・タマサート大学 2022 年 8 月 延べ参加人数 70 名

・パジャジャラン大学 2022 年 11 月、12 月 延べ参加人数 213 名